

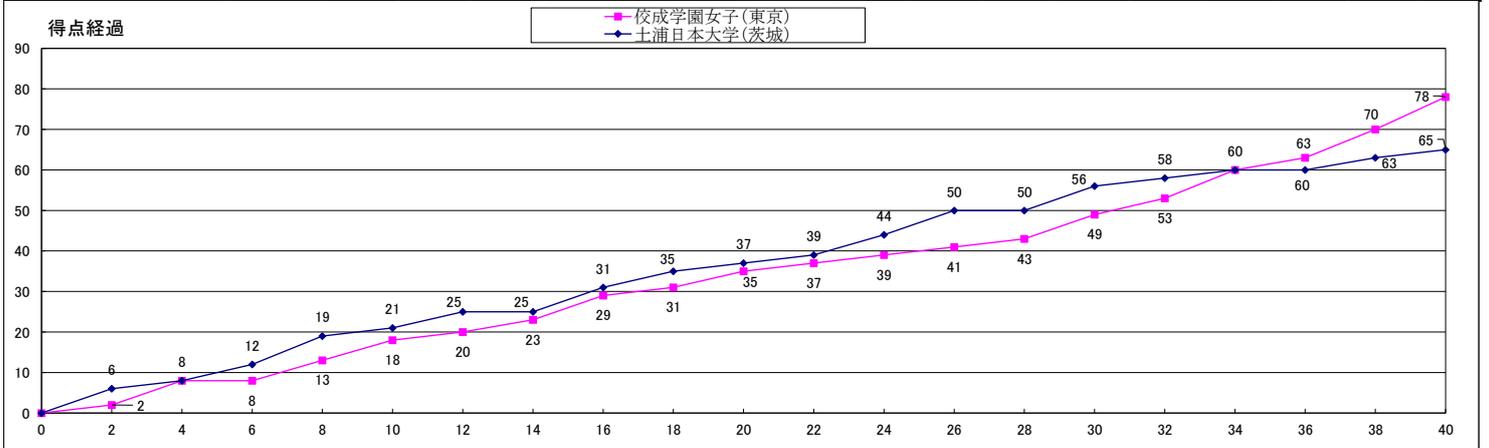
試合No.	A1	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会								
		期 日	平成30年 6月 10日(日)		会 場	カルッツかわさき					
女子準決勝	主 審	河野 仁			副 審	中澤 美保子・穂川 苑子					
	チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	土浦日本大学(茨城)				21	16	19	9			65
佼成学園女子(東京)				18	17	14	29			78	

土浦日本大学(茨城)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
児玉 志織(CAP)	* 4	25	4	12	33%	4	12	33%	5	8	63%	1	6	3	3	0	5	3	
川崎 梨香子	5	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	3	
野田 千晴	* 6	2	0	4	0%	1	4	25%	0	0		1	2	5	2	0	4	0	
飯田 瑞希	* 7	8	0	1	0%	3	5	60%	2	2	100%	2	4	4	2	0	3	5	
廣瀬 実子	* 8	25	0	0		11	21	52%	3	4	75%	5	7	0	2	0	4	2	
佐藤 愛	9	0	0	0		0	4	0%	0	0		0	1	1	0	0	0	2	
野口 葉	10	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	1	
金子 日麻里	11	0	0	0		0	1	0%	0	0		1	1	0	0	0	0	0	
加藤木 陽	* 12	5	1	3	33%	0	4	0%	2	2	100%	0	1	2	0	0	1	3	
青木 花香	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	1	0	1	1	
川端 優	14																		
染谷 璃央	15																		
今井 志歩美	16																		
加藤 楓	17																		
青木 優美夏	18																		
コーチ	三須 由雄																		
合計		65	5	20	25%	19	51	37%	12	16	75%	10	22	15	10	0	18	20	

佼成学園女子(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
網谷 萌夏(CAP)	* 4	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	1	0	
益永 萌央	5																		
西山 郁乃	* 6	24	0	0		10	12	83%	4	7	57%	2	5	2	6	0	4	2	
赤松 夏愛	* 7	28	4	13	31%	5	10	50%	6	9	67%	0	9	1	5	0	1	1	
高野 祭	* 8	14	2	14	14%	3	7	43%	2	2	100%	2	3	1	0	0	2	1	
井出 仁菜	9	2	0	2	0%	1	2	50%	0	0		0	3	2	1	0	4	1	
西堀 夏緒	* 10	4	0	0		2	4	50%	0	0		2	1	3	2	0	2	4	
栗田 圭子	11																		
佐藤レイナ	12	6	0	0		3	5	60%	0	0		1	4	2	1	1	0	5	
安西 涼雲	13																		
小森 安奈	14																		
清水 芽衣	15																		
橋本 亜磨	16																		
島田 真希	17																		
川端 真白	18																		
コーチ	結城 葉月																		
合計		78	6	29	21%	24	40	60%	12	18	67%	7	25	11	15	1	14	14	



戦評

1P 両チーム、マンツーマンで始まる。土浦日大は#8が高さを生かし得点していく。対する佼成学園は#6や#9がドライブで仕掛け、フリーを作り出し得点を重ねる。中盤、土浦日大は#4が存在感を発揮し、3PTSやアシストなどオールラウンドに活躍する。佼成学園は#7が3PTS、#8がミドルなどで食らいつつ、プザーと同時に#7がレイアップをねじ込み、21-18で土浦日大がリードして1Pを終了。

2P このピリオド、佼成学園はディフェンスを変える。点差を縮めたいが両チームシュートが入らずリズムが悪い展開が続く。佼成学園はディフェンスを戻し、ブレイクで一時逆転する。しかし土浦日大は#4が3PTS、ミドルと苦しい時間帯に得点する。互いにチームオフェンスは機能するがシュートが入らず点差をわずかに縮め、37-35で土浦日大がリードして前半を終了。

3P このピリオド、両チーム、ディフェンスを変化させる。互いにゾーンの穴を突き、点差は変わらない。土浦日大はディフェンスを戻し、プレッシャーを強め、#7、#8のゴール下、#4のミドルなどで次々と得点し、点差が広がったところで佼成学園はタイムアウト。タイムアウト明けに#7の3PTSや#6のゴール下などで追いつける。56-49で土浦日大がリードを広げて3P終了。

4P このピリオド、両チーム攻守にわり良さを存分に発揮する。佼成学園は#7、#8の2本の3PTSで一気に同点までもっていく。土浦日大は#7がフェールアウトし、佼成学園はリバウンドを支配し始める。佼成学園は#6、#7のゴール下や#12の速攻などで突き放す。土浦日大は#4や#8が良い形でシュートを打つも入らず、勝負所で流れを掴んだ佼成学園が78-65で勝利した。